

2. 指標設定

成果指標	指標名	予防接種率の向上		目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	—				予防接種率を向上させることが、疾病予防になるため		
活動指標	指標	a	MR1期予防接種率	b	MR2期接種率	c	市内医療機関	d
	数値	目標	95%	目標	95%	目標	—	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
予防接種率の向上		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a MR1期予防接種率	%	48.2 %	70.2 %	92.2 %
b MR2期接種率	%	90.6 %	92.8 %	95.1 %
c 市内医療機関	ヶ所	25 ヶ所	25 ヶ所	26 ヶ所
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
全体として接種率は向上しているものの、個別には減少している
対応（改善点等）
・学校や保育園等の関係機関と連携して、啓発に力を入れる ・他市の状況も見ながら、一部負担金徴収も検討する

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

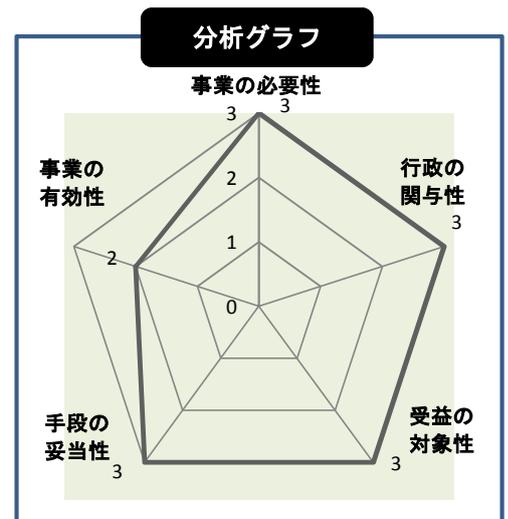
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		34,054	72,128	63,372	112,885
うち経常経費		34,054	38,594	38,647	51,594
財源内訳	国費				
	県費		33,534	8,026	30,929
	市債				
	その他				
	一般財源	34,054	38,594	55,346	81,956
うち経常		34,054	38,594	38,647	48,028
事業費に係る人件費		8,490	17,066	17,519	17,200

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
国の動向を見ながら、国の補助金がなくなれば、市としても実施の有無や助成の検討を行う

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 個人または社会的感染拡大を防止するために有効である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 予防接種法により、行政の責任を課せられている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 乳幼児～高齢者に至る市民全員が享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 身近な医療機関で接種できることが接種率向上につながる手段と判断する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 社会防衛できる接種率は、95%とされているが、現段階ではまだ達成できていない



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	所期の目的達成のため事業の有効活用を図ること